

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 —「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える—

開催地：新潟

グループ： 7班

2024.8.8

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方

・身近で使われているAI

ChatGPT、自動車のナビ、スマホのSiri、ロボット掃除機、YouTubeのおすすめ欄、テストの採点をデジタルで
する、AIイラストなど

・AIを使う理由

自分が楽しんで生活を便利にしたい など

例

ロボット掃除機：自分が動かなくて済む

冷蔵庫：材料を提示すると料理が提案される

自動車：事故を防ぐ/最適なルートを提案

医療：画像診療(動物など)

など

誤情報・偽情報の認識

- ・誤情報

多くの人が騙されてしまう

生成AIで作られた物を見破るのは難しい

詐欺に活用される危険性がある

- ・偽情報

生成AIの文章が誤った情報かどうかわからない

見方によって内容に差が生まれる

解決策と対策

実際にあるものかどうかを調べる

映像や画像は実物と見比べる

すぐには信じない

SNSなどの個人が情報を発信できる情報は**簡単に信用しない**

例[XやInstagramなど]

まとめ

- ・AIがあることは決して自分たちが不利になるものではない
- ・誤情報や偽情報は詐欺に活用される可能性があるの
で気をつける
- ・ひとつの情報を色んな角度から見て判断する
- ・信用性の高いところで調べる

社会や学生自身がどうあるべきか

- ・情報を使いこなしていない段階で安易にネットに情報を流してはいけない
- ・AIはあくまでサポートアイテムとして活用して自分でやるべきところは自分でやる
- ・すぐに目の前の情報を信じずに一旦疑ってみる